

再評価調書（再々評価）

事業名	都市計画道路 枚方藤阪線整備事業				
所在地	枚方市中宮本町、中宮北町、中宮東之町、甲斐田東町、甲斐田新町地内				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	枚方市中央部を東西に結ぶ幹線道路であり、枚方市中心部における交通渋滞緩和と交通安全対策を目的とし、現道拡幅整備を行うものである。			
	内容	延長 1.4 km 幅員 16.0 m 道路区分 第4種第2級 2車線道路			
	事業費	全体事業費 約52億円 投資事業費 約47億円 内用地費 約44億円 内用地費 約40億円 内工事費 約8億円 内工事費 約7億円 再評価時点における事業費 約58億円			
	維持管理費	約8.4百万円/年（約6百万円/km・年）			
	上位計画	大阪府道路整備長期計画 大阪府都市基盤整備中期計画（案）			
	関連事業				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時点	現時点	分析
		事業採択年度 S63年度	S63年度	S63年度	用地買収の遅れのため5年延長
		事業着手年度 S63年度	S63年度	S63年度	
		完成予定年度 H5年度	H12年度	H17年度	
進捗状況	用地 - %	82% [面積割合 82%]	91% [面積割合 91%]		
	工事 - %	64%	92%		
途中段階の整備効果発現状況	20～30mの用地が確保できた段階において、順次、拡幅整備を行うことにより、歩行者の交通安全の確保並びに、自動車交通流の円滑化が図れる。				
事業進捗に関する課題					

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点での状況	現時点での状況	分析
			(現道) 府道杉田口禁野線 混雑度 1.40(平成6年度) 1.27(平成9年度) 交通量(平日12時間) 9,261台(S63年度) 13,695台(H6年度) 13,591台(H9年度)	(現道) 府道杉田口禁野線 混雑度 1.40(平成6年度) 1.27(平成9年度) 1.11(平成11年度) 交通量(平日12時間) 9,261台(S63年度) 13,695台(H6年度) 13,591台(H9年度) 13,006台(H11年度)	混雑度 交通量 ともに は減少 傾向に あるも の、依 然とし て混雑 してい る。
			(周辺道路の状況) 府道枚方高槻線 混雑度 0.73(平成6年度) 0.83(平成9年度) 府道枚方富田林泉佐野線 混雑度 1.97(平成6年度) 1.55(平成9年度)	(周辺道路の状況) 府道枚方高槻線 混雑度 0.73(平成6年度) 0.83(平成9年度) 0.76(平成11年度) 府道枚方富田林泉佐野線 混雑度 1.97(平成6年度) 1.55(平成9年度) 1.59(平成11年度)	枚方市 中心部 への混 雑度は 依然と して混 雑して いる。
			平成14年4月に関西外国語大学が開校し、朝の通学通勤時間帯は学生や通勤する方と路線バス等の自動車が道路内で混合している状況にある。		
	地元等の協力体制		拡幅整備促進期成同盟会から毎年早期整備を要望されている。	今年度についても、地元自治会を含む6団体から、早期拡幅要望を受けている。	

		計画時の想定		再評価時点での状況	現時点での状況(変更点)	分析
			備考			
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出できず。	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な便益内容 走行時間の効果(走行時間の短縮) 走行経費の効果(時間短縮による走行経費の節減) 受益者 道路利用者 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 2 . 4 9 便益総額 B = 約 1 4 2 億円 総費用 C = 約 5 7 億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1 . 8 5 便益総額 B = 約 1 2 6 億円 総費用 C = 約 6 8 億円 	交通量配分の見直し
	その他の指標(代替指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 混雑度 ・ 交通量 				
事業効果の定性的分析	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 ・ 道路空間確保によるライフライン導入空間の確保 ・ 歩車分離による交通安全機能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者 地域住民、道路利用者、道路占有者、道路管理者 	変更点特になし	関西外国語大学の開設による急増した歩行者・自転車の安全確保	
	活力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間交流連携の強化 ・ 物流の効率化の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者 地域住民、道路利用者、就労者 	変更点特になし	変更点特になし	
	快適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員が確保された歩道による快適性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受益者 地域住民、道路利用者 	変更点特になし	変更点特になし	
	その他				中宮第2団地の建替え、関西外国語大学の開設による周辺既成市街地の活性化	
自然環境等への影響と対策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の整備により旅行速度が向上し、CO2の排出量が削減される。 ・ 植樹帯の設置により、緑の回復に努める。 		変更点特になし	変更点特になし	
その他特記すべき事項		前回再評価時の意見具申・府の対応方針の概要	[意見具申]事業継続 [対応方針]事業継続	今回再評価時点の反映状況		